

事務事業名	病児・病後児保育事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	教育・保育グループ	課長名	石飛 和宏
	施策名	(25)子育て支援の充実	担当者名	周藤 寛雅	電話番号	0854-40-1044 (内線) 2252
	目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳) 意 図 A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	予 算 科 目	会 計 款 大 事 業 大 事 業 名 0:1:15:0:2 項 目 中 事 業 中 事 業 名 1:0:05:0:6	児童福祉総務管理事業 病児病後児保育事業	
	基本事業	(072)子育てと仕事の両立支援				
目的	対 象 保護者 意 図 子育てと仕事を両立できる。					

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
病気の回復期にある乳幼児から小学校6年生までの児童とその保護者	保護者の子育てと就労の両立を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 □ 単年度のみ ■ 単年度繰返 (H21 年度 ~) □ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	事業内容 病気の回復期にあり、かつ、集団保育が困難な期間において、当該児童を専用施設または保育所内で一時的に預かる事業。(看護師:常時配置、保育士:児童数に応じ配置) 利用料金:1,500円/日(食事なし1,200円/日) 対象児童:乳幼児から小学校6年生までの児童 ※掛合保育所・加茂こども園は未就学児対象
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 業務委託契約締結、委託料支払い、委託先との協議、申込受付、決定、利用料徴収、施設維持管理 令和3年度より、新たに加茂こども園病後児保育室設置(委託)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 保育ニーズに対応するため国規準に基づき実施している。平成27年度新たに三刀屋地区に施設を整備(定員2名)。平成30年度から、大東の施設を病児対応型にし、定員を拡大。令和3年度より加茂こども園内に病後児保育室を設置

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 利用者数/申込数	%	78.5	94.2	86.0	100.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
委託料(運営委託): 17,669千円	財源内訳	国庫支出金	千円	4,451	4,919	6,388	6,360
○だいた病児・病後児保育室: 6,900千円		県支出金	千円	4,451	4,919	6,388	6,360
○みとや病後児保育室: 4,407千円		地方債	千円				
○掛合病後児保育室: 1,966千円		その他	千円	526	243	515	556
○加茂こども園病後児保育室: 4,396千円		一般財源	千円	4,326	3,724	4,906	6,362
需用費他 528千円	事業費計	千円	13,754	13,805	18,197	19,638	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	集団保育が困難な病児・病後児を預かることで、仕事と子育ての両立に資し、以て子育て支援となった。コロナ禍も2年目となり、利用人数が徐々にコロナ前に戻つつある。
② 事業実施するうえでの課題	従来2施設(大東、掛合)において事業実施してきたが、利用ニーズが高まる中、利用希望者すべての受入は困難な状況であったため、平成27年度に三刀屋において施設改修し、平成28年4月より三刀屋にて事業を開始した。これにより、木次、三刀屋エリアでの受入が可能となった。また、平成30年4月より、だいた病後児保育室を病児対応とした。
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てと就労の両立するために、病児・病後児のニーズが高まっている傾向にある。 ・近年では病児の受入ニーズが特に高まっている。 ・平成28年度より三刀屋健康福祉センター内の一室を改修して病後児保育室を新設。 ・平成30年度よりだいた病後児保育室を病児保育室とし開設し、定員を2名から4名へ拡大した。 ・令和3年4月より、加茂こども園にて病後児(体調不良時)保育室を開設。